

# 環境活動レポート

## 2016 年度

(2015 年 10 月～2016 年 9 月)



京葉総業グループは、資源リサイクル事業の取り組みを更に推進させる為、  
廃棄物のリデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)の3Rを通じて、  
地球温暖防止と循環型社会への貢献に取り組んでいます。

作成：2016 年 10 月 31 日

株式会社 京葉総業・有限会社 京葉総業

## <ご挨拶>

日本今、未曾有の東日本大震災に見舞われ復興の最中にあります。 それに加え近年、温暖化をはじめとした地球規模の気候変動が要因とみられる局地的な災害に見舞われています。人類が積み重ね上げた自然や、社会環境が次々と破壊されています。

加えて我が国では、少子高齢化や海外へのアウトソーシング等の国内環境の変化により、従前、国内で発生した環境負荷と消費も国外へシフトされ、物は海外生産が主流となり、必然的に企画デザインを中心とした、研究開発から無形のサービス価値を見出すビジネスの展開を余儀なくされています。

今後、どこに、どこへ、企業が向かうべきか、経営が問われる時代であります。

これまで高度成長時代の動脈物流で作り納めてきた物が、今は静脈産業に成り代わり、資源の有効活用をはじめ循環型社会への積極的な経営が求められています。

資源の無い我が国で更なる資源の有効活用へと、小型家電のリサイクル法も施行されましたように、きめ細かな収集とリサイクル技術等が必要で、今一度、市民・消費者との密なる環境への取り組みが重要です。

それには、経営者自ら、「先見性への知識と知恵・戦略的リサイクルへの技術力の向上」に心掛け、全社員が続けて良かったと成果を実感できるよう、「エコアクション21のメリットを活かした環境経営」の更なる推進を果たす所存です。

## 《 環境方針 》

当社は、「地球と地域に貢献する企業」をモットーに、環境に配慮した一般廃棄物と産業廃棄物（特管廃棄物を含む）の収集から中間処理までのリサイクル活動を推進し、地球温暖化防止と資源の有効活用を図って行きます。

具体的には、環境法令等の遵守と共に、以下の環境目標に取組み、継続的改善に努めます。

### <環境目標>

- (1) 排出事業者様とのコミュニケーションを密にし、リサイクル資源の拡大を図ります。  
特に排出事業者へ分別等の改善提案に努めます。
- (2) 社内での省資源・省エネ活動を推進し、地球温暖化防止と資源の有効活用を図ります。  
特に水とエネルギーの節約に努め、適正使用の管理を継続して行きます。
- (3) 社内使用のOA機器と電気製品、照明等のグリーン購入を推進します。  
特に、環境配慮型商品の優先使用と併せ、省エネ化を図ります。
- (4) 排出事業者様からの信頼を大切に、優良産廃処理業者を目指し、良きパートナーとして循環型社会へ貢献して行きます。

当社の環境方針は社内に掲示すると共に、全ての従業員に周知します。

また、環境への取組状況を「環境活動レポート」と、当社ホームページで公表して行きます。

制定 2007年 4月 1日

改訂 2014年 4月 8日

株式会社京葉総業

代表取締役 小出 勉

## 1. 組織の概要

		株式会社京葉総業	有限会社京葉総業※
法人設立年月日		昭和 56 年 11 月 13 日	平成 4 年 9 月 24 日
資本金		1,600 万円	300 万円
売上高	2016 年度	566 百万円 (決算期 9 月) (2015.10~2016.9)	206 百万円 (決算期 8 月) (2015.9~2016.8)
事業所名		株式会社京葉総業	有限会社京葉総業 白井作業所 (産業廃棄物中間施設)
代表者名		代表取締役 小出 勉	代表取締役 小出 淳一
所在地		〒274-0817 千葉県船橋市高根町 2712-1	〒270-1431 千葉県白井市根 13 番 1
ホームページ		<a href="http://www.keiyo-sogyo.co.jp/">http://www.keiyo-sogyo.co.jp/</a>	
環境管理責任者氏名		小出 勉	小出 淳一
担当者連絡先	担当者	三宅 由起子	周郷 富友美
	(電話)	047-407-7500	047-492-6227
	(FAX)	047-407-7520	047-492-6228
事業活動の内容		①一般廃棄物収集運搬業 ②産業廃棄物収集運搬業 ③特別管理産業廃棄物収集運搬業	①産業廃棄物収集運搬業 ②産業廃棄物中間処理業

※・・・(株)京葉総業子会社であり、(株)京葉総業代表取締役小出勉の指揮に従い環境活動を実施。

		2014 年度	2015 年度	2016 年度
株式会社 京葉総業	従業員(人)	21	23	23
	敷地面積(m <sup>2</sup> )	810	810	810
有限会社 京葉総業	従業員(人)	11	11	12
	敷地面積(m <sup>2</sup> )	6,600	6,600	6,600

## 2. 対象範囲 (認証・登録範囲)

認証・登録番号：0002152

認証・登録年月日：2008 年 2 月 5 日 認証取得 (取得後 9 年目)

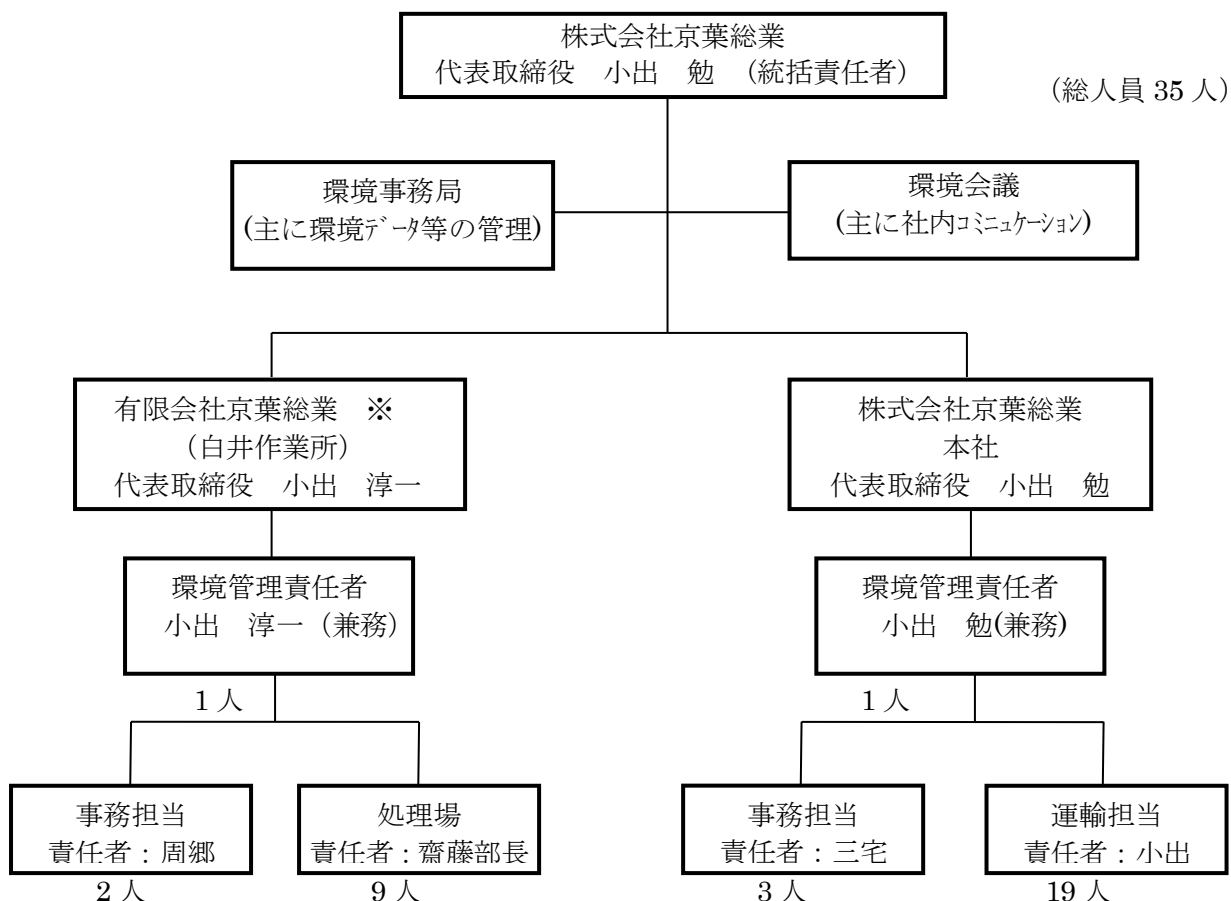
認証・登録事業者名：株式会社 京葉総業

対象事業所：本社、有限会社京葉総業 白井作業所

所在地：千葉県船橋市高根町 2712-1

事業活動内容：一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、  
特別管理産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業

<環境管理組織図>



※(株)京葉総業子会社であり、(株)京葉総業代表取締役小出勉の指揮に従い環境活動を実施。

<役割・責任・権限>

代表者 (統括責任者)

- 1) 環境マネジメントシステムの実施と管理に必要な人、物、金の提供
- 2) 環境マネジメントシステムの実施、維持及び権限を有する環境管理責任者の任命
- 3) 環境方針の制定、周知
- 4) 環境関連文書・記録類の承認 (環境活動レポート含む)
- 5) マネジメントレビューの実施

環境管理責任者

- 1) 環境目標計画書、環境目標・活動計画/進捗管理表の作成及び管理
- 2) 外部環境情報の窓口及び対応
- 3) 順法評価の実施
- 4) 環境関連文書・記録類の作成 (環境活動レポート含む)
- 5) 是正・予防処置の指示、有効性の確認
- 6) マネジメントレビューのための情報提供及び記録の作成

各責任者・従業員

- 1) 環境目標・活動計画書の活動実施及び結果報告
- 2) 是正・予防処置の実施

株式会社 京葉総業

< 産業廃棄物の収集運搬の許可の内容 >

自治体	許可番号	許可年月日 許可の有効 年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリートくず・陶磁器	びん類	がれき類	ばいじん
千葉県	1200026079	H27.1.9 H31.12.14	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
東京都	13-00-026079	H26.11.8 H31.11.7		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
神奈川県	01400026079	H25.12.19 H30.12.18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

● 自動車等破砕物を除く

< 一般廃棄物収集運搬の許可の内容 >

自治体	許可番号	許可有効期限
船橋市	第 19 号	H30.3.31
八千代市	第 8 号	H30.3.31
習志野市	習志野市第 01-011 号	H30.3.31

< 特別管理産業廃棄物収集運搬の許可の内容 >

自治体	許可番号	許可年月日・許可有効期限	廃棄物の種類
千葉県	第 01250026079 号	H25.1.17～H30.1.16	廃酸、廃アルカリ 感染性産業廃棄物
神奈川県	第 01450026079 号	H25.12.19～H30.12.18	廃油、廃酸、廃アルカリ、 感染性産業廃棄物

(特定有害産業廃棄物であるものを除く)

有限会社 京葉総業

< 産業廃棄物の収集運搬の許可の内容 >

自治体	許可番号	許可年月日 許可の有効 年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリートくず・陶磁器	びん類	がれき類	ばいじん
千葉県	01200107401	H25.12.20 H30.11.17	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
東京都	13-00-107401	H26.5.17 H31.5.16		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
神奈川県	01402107401	H26.6.4 H31.5.9		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
埼玉県	01107107401	H26.6.23 H31.5.20		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○		○	
茨城県	00801107401	H26.6.24 H31.5.24		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	

● 自動車等破砕物を除く

<産業廃棄物処分の許可の内容>

名称	有限会社 京葉総業
自治体	千葉県
許可番号	第 01220107401 号
許可年月日	H26.2.27
許可有効年月日	H31.1.8
事業の区分	破砕及び圧縮による中間処理
産業廃棄物の種類	<破砕による中間処理に係るもの> ① 廃プラスチック類 ②紙くず ③木くず ④繊維くず ⑤ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	<圧縮による中間処理に係るもの> ① 金属くず ②廃プラスチック類

(これらのうち、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く)

【処理能力】～設置場所:千葉県白井市根字下郷谷 13 番 1,14 番

施設の種類の種類	数量	処理能力 (設置年月日)
破砕施設	1	廃プラスチック類 3. 1 2 t / 日 (0.39t/時×8 時間) 紙くず 3. 2 8 t / 日 (0.41t/時×8 時間) 木くず 3. 9 2 t / 日 (0.49t/時×8 時間) 繊維くず 3. 9 2 t / 日 (0.49 t/時×8 時間) ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 4. 7 7 t / 日 (0.596 t/時×8 時間) (平成 15 年 11 月 21 日)
圧縮施設	1	金属くず 4. 2 2 t / 日 (平成 18 年 3 月 22 日)
圧縮施設	1	金属くず 7. 9 t / 日 (0.99t/時×8 時間) 廃プラスチック類 6. 3 t / 日 (0.79t/時×8 時間) (平成 27 年 12 月 10 日)

【保管量】～保管場所:千葉県白井市根字下郷谷 13 番 1,14 番

施設の種類の種類	数量	保管量	
廃プラスチック類の保施設	1	3 6 . 0 m <sup>2</sup> 5 2 m <sup>3</sup>	
廃プラスチック類の保施設	1	6.8 m <sup>2</sup> 8.1 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)	
木くずの保管施設	1	3 6 . 0 m <sup>2</sup> 5 2 m <sup>3</sup>	
紙くずの保管施設	1	3 6 . 0 m <sup>2</sup> 5 2 m <sup>3</sup>	
繊維くずの保管施設	1	3 6 . 0 m <sup>2</sup> 5 2 m <sup>3</sup>	
金属くずの保管施設	1	6.8 m <sup>2</sup> 8.1 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずの保管施設	1	6.8 m <sup>2</sup> 8.1 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)	
搬入品一時保管施設(廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず)	1	1 3 m <sup>2</sup> 1 6 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)	
処理後物保管施設	廃プラスチック類の保管施設	1	8. 3 m <sup>2</sup> 8. 3 m <sup>3</sup>
	廃プラスチック類の保管施設	1	13 m <sup>2</sup> 16 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)
	木くずの保管施設	1	6.8 m <sup>2</sup> 8.1 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)
	紙くずの保管施設	1	6.8 m <sup>2</sup> 8.1 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)
	繊維くずの保管施設	1	6.8 m <sup>2</sup> 8.1 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)

金属くずの保管施設	1	6.8 m <sup>2</sup> 8.1 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずの保管施設	1	6.8 m <sup>2</sup> 8.1 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)
残さ物の保管施設	1	6.8 m <sup>2</sup> 8.1 m <sup>3</sup> (コンテナ保管)

【処理工程】

選別→破砕→出荷（リサイクル、処分）

選別→圧縮・梱包→出荷（処分、売却）

<施設等の状況>

	株式会社 京葉総業	有限会社 京葉総業
運搬車両	4トンパッカー車 4台	4トンパッカー車 1台
	3トンパッカー車 10台	2トン平ボディ車 2台
	4トンアームロール車 2台	4トンアームロール車 3台
	2トン平ボディ車 2台	2トンドンプ車 1台
	2トンロング平ボディ車 4台	
	4トンロータリー車 1台	
	冷蔵冷凍車 1台	
車両系建設機械等	—	ペーローダー 2台
		ユンボ 4台
その他	—	1.5t・2t フォークリフト 各1台
		破砕機 55kW
		圧縮機 2台

<処理実績>

株式会社 京葉総業

年度（単位：t）	2014年度	2015年度	2016年度
一般廃棄物収集運搬量	11,326	10,046	10,706
産業廃棄物収集運搬量	1,649	1,826	2,786
*医療系産業廃棄物収集運搬量	25.5	15.7	147.8

\*活動期間を会計年度（10月～9月）に合わせた。

有限会社 京葉総業

年度（単位：t）	2014年度	2015年度	2016年度
産業廃棄物収集運搬量	658	688	715
産業廃棄物処分量(中間処理)	2,728	2,721	3,196
うち再資源化等量	2,499	2,365	2,286
中間処理後再資源化等量	2,499	2,365	2,286
中間処理後最終処分量	440	456	509

\*活動期間を会計年度（10月～9月）に合わせた。

## < 廃棄物処理料金 >

料金は種類,性状,量,運搬距離等に個別見積。(無料)

### 3. 環境負荷の実績

2016 年度 (2015.10~2016.9)		単位	2014 年度	2015 年度	2016 年度
二酸化炭素排出量 合計		kg-CO <sub>2</sub>	407,356	450,608	453,409
購入電力*		kg-CO <sub>2</sub>	15,298	15,235	12,880
化石燃料		kg-CO <sub>2</sub>	435,310	392,121	440,529
産業廃棄物等総排出量	再生利用 熱回収	t	2,365	2,499	2,286
	単純焼却	t	0	9	0
	最終処分量	t	456	440	509
一般廃棄物等総排出量	可燃ごみ	t	0.18	0.21	0.05
水資源投入量	地下水：(有)京葉総業白井	m <sup>3</sup>	1,167	1,516	1,428
	地下水：(株)京葉総業船橋	m <sup>3</sup>	70	70	70
総排水量 合計		m <sup>3</sup>	1,237	1,586	1,498

(\*印：過去は 0.378 kg-CO<sub>2</sub>/kWh にて算出、2014 年度から東電の二酸化炭素排出係数  
2012 年度公表値適用：0.406 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 適用)

1. 2011 年度から活動期間を会計年度に合わせた。
2. データ数値は、株式会社京葉総業、有限会社京葉総業の合計値。
3. 水資源投入量について、(株)京葉総業は地下水メータが取り付けしていないため未計測。  
(推定投入量は年間 70m<sup>3</sup>)



#### 4. 環境中期目標（2014年度代表者交代に伴い全面見直し実施）

中期目標	基準	—	2014年度	2015年度	2016年度
廃プラ中間処理リサイクル率の向上	初年度実績から80%以上向上	目標	80%	82%	83%
		達成手段	1. 排出事業者への提案 2. 処理場内の分別の徹底 3. リサイクル業者の開拓 4. 排出事業者への情報提供・啓発活動の実施	1. 排出事業者への提案 2. 処理場内の分別徹底 3. リサイクル業者開拓 4. 圧縮機の増強検討	1. 排出事業者への提案 2. 処理場内の分別の徹底 3. リサイクル業者の開拓 4. 圧縮機の増強許可申請
産業廃棄物収集運搬量の拡大(医療系含む)	毎年60件以上の営業コソタ外活動の実施(冊子配布等)	目標	広報冊子配布60件以上	広報冊子配布70件以上	広報冊子配布80件以上
		達成手段	1. 産業廃棄物の分別ガイド等の配布活動による適正処理量の拡大 2. 適正処理促進への行政とタイアップ活動の検討	1. 産業廃棄物の分別ガイド等の配布活動による適正処理量の拡大 2. 適正処理促進への行政とのタイアップ活動	1. 産業廃棄物の分別ガイド等の配布活動による適正処理量の拡大 2. 適正処理促進への行政とのタイアップ活動
排出事業者への廃棄物処理改善提案の推進 (5件/月以上、年度累計60件以上を目標)		目標	改善提案件数60件以上	改善提案件数70件以上	改善提案件数70件以上維持
		達成手段	1. 排出事業者への改善提案/実施記録の活用 2. 改善提案資料の活用 3. 処理施設の見学事業者の積極的受け入れ活動の実施 4. 最終処分場の定期チェック 5. 環境関連表彰制度の検討	1. 排出事業者への改善提案/実施記録の活用 2. 改善提案資料の活用 3. 処理施設の見学事業者の積極的受け入れ活動の実施 4. 最終処分場の定期チェック 5. 環境関連表彰制度の検討 6. Q&A資料の作成 7. Q&A資料の顧客への配布	1. Q&A資料見直し 2. Q&A資料の顧客への配布
グリーン購入の推進 施設・事務所で使用の文房具類・OA機器・家電製品・照明器具等をグリーン購入法適合品への買い替えを2014年度ベースの60%を2016年度までに70%以上に推進する。		目標	60%以上	65%以上	70%以上
		達成手段	1. カウネット等活用による文房具類のグリーン購入を促進する 老朽化機器類の把握 2. 蛍光管、電球類のLED化の推進 3. 家電製品グリーン購入促進	1. カウネット等活用による文房具類のグリーン購入を促進する 老朽化機器類の把握 2. 家電製品のグリーン購入の促進	1. カウネット等活用による文房具類のグリーン購入促進 2. 老朽化機器類把握 3. 家電製品のグリーン購入の促進

中期目標	基準	—	2014 年度	2015 年度	2016 年度
<省資源・省エネ活動の継続実施と監視>  地球温暖化防止と資源の有効活用	水とエネルギーの節約に努め、適正使用への維持管理の徹底（前年度内の使用に努める）	目標	管理活動	管理活動	管理活動
		達成手段	1. 月次データからの監視と会議等での省エネ・省資源活動の徹底 2. 年度環境負荷チェックシートの作成と統計評価等の実施 3. O A 機器・文房具類・照明・家電製品グリーン購入推進 4. グリーン印刷の実施 5. エコドライブ・適正車両の整備 6. 作業着等のエコマーク製品の購入	1. 月次データからの監視と会議等での活動徹底の励行 2. 年度環境負荷チェックシートの作成と統計評価等の実施 3. 白井作業所の節水方法の検討と推進（雨水利用や散水方法等）	1. 月次データからの監視と会議等での活動徹底の励行 2. 年度環境負荷チェックシートの作成と統計評価等実施 3. 白井作業所の節水方法の運用定着
<安全操業活動の徹底> リサイクル効率の維持管理  破碎・圧縮機の安全操業、施設持込者の事故防止等によるゼロ災害活動、日常点検の実施		目標	管理活動	管理活動	管理活動
		達成手段	1. 「ゼロ災害実施記録」により活動し記録作成 2. 「破碎機日常点検表」「圧縮機点検表」で点検実施 3. ヒヤリハット集収集作成	1. 「ゼロ災害実施記録」により活動し記録作成 2. 「破碎機日常点検表」「圧縮機点検表」による点検実施 3. ヒヤリハット集のまとめと活用検討	1. 「ゼロ災害実施記録」により活動し記録作成 2. 「破碎機日常点検表」「圧縮機点検表」による点検実施 3. ヒヤリハット集の配布・活用
<環境経営評価への参画>  許認可自治体から優良性評価の適合認定取得  環境経営体制の強化（ステイクホルダーの信頼性向上と新規顧客の獲得）		目標	管理活動	管理活動	管理活動
		達成手段	1. 担当者への教育の実施 2. 情報収集・申請手続きの準備 3. 申請書作成 4. 認定取得対象自治体の把握 5. 地域イベント活動の参画	1. 申請手続きの再確認と準備 2. 申請書更新版作成・提出 3. 会社案内、ホームページ、環境活動レポート等による公表項目の開示と広報・営業活動の実施	1. 対象自治体の申請手続きの準備 2. 申請書作成・提出 3. 会社案内、ホームページ、環境活動レポート等による広報・営業活動の実施

\*PRTR 該当物質はなく、自社排出廃棄物は少ないため、化学物質使用量と廃棄物排出量の削減目標は無い。

## 5. 環境年度目標及び活動内容の取組結果と評価

2016 年度目標 (2015 年 10 月～2016 年 9 月)	2016 年度結果(取組結果)と評価	
<p>廃プラの廃棄物中間処理での廃棄物当たりの再生利用、熱回収の合計量のリサイクル率を 2016 年度までに 3%向上させる。(2016 年度は 3%以上向上)</p>	<p>年度目標 82%以上のリサイクル率に対し、実績 84%と達成した。 5 月に圧縮梱包機の許可得て、リサイクル品目・処理量の拡大を計り新規設備稼働が貢献した。</p>	○
<p>産業廃棄物の適正処理新規事業者拡大への広報活動展開 (リサイクルがドブック等の冊子配布による営業活動の強化、年間 80 件以上の普及活動展開)</p>	<p>年度目標 70 件以上の提案件数に対し、実績 160 件と大幅に(228%)達成した。特に、船橋市民便利帳・千葉県リハビリテーション関連大会報に当社の事業案内等を掲載した。又、会社案内も刷新し、排出事業者・行政への提案活動に活用した結果が大きく功を奏した。</p>	○
<p>排出事業者への廃棄物処理改善提案の推進に努め年度累計 80 件以上を目標とする</p>	<p>年度目標 70 件以上の提案件数に対し、実績 97 件と大幅に(138%)達成した。特に、リサイクルへの分別方法の提案による処理コストの低減も計られた。今後、リピート客の実態調査し顧客満足度の向上を計っていく。</p>	○
<p>文房具類・OA機器・OA 機器・家電製品類のグリーン購入率を 70%以上にする</p>	<p>年度目標 65%以上のグリーン購入率に対し、実績 59%(119/202 品数)と未達成。 本社の事務デスク、パソコン等環境配慮商品を購入したが、プリンターのインクカートリッジのエコ対応品で障害発生したため、非グリーン品の純正カートリッジを使用したため大幅に悪化し目標未達成であった。</p>	×
<p>水とエネルギーの節約に努め、適正使用の管理 (基準年度 2013 年度以内の使用に努める)</p>	<p><b>水節約について：</b>年度目標 1596m<sup>3</sup> 以下の地下水使用量に対し、実績 1428m<sup>3</sup> と目標達成。特に 7 月の油水分離槽の点検清掃に伴う大幅増加が懸念されたが、以降の節水努力で目標達成した。 <b>エネルギー節約について：</b>軽油使用量増加、燃費改善に対しては未達成 (32,157L に対し 33,529L) であり、要因の一つである軽油車両の故障増加と目標設定での原単位を加味した取り組みの検討のために、年度データの分析や修理データの分析を実施予定。(修理コストカット、エコカー切り替え含む)</p>	×
<p>破碎・圧縮機の安全操業、施設持込者の事故防止等によるゼロ災害活動、日常点検の実施</p>	<p>年度目標ゼロに対し、実績 4 件と目標未達成。 構内での人身事故による怪我 2 件と構外の車両事故 2 件発生し、今後、事故防止教育の強化を計っていく。</p>	×
<p>環境経営体制の強化 (ステイクホルダーの信頼性向上と新規顧客の獲得)</p>	<p>期限内取組目標に対し、新規顧客の獲得実績面での結果評価は 68 件獲得し目標達成。 今後は優良性事業者登録と産廃ネットの更新、会社案内、ホームページの更新等、環境情報の発信を強化する。</p>	○

【評価欄】 ○：80%以上 △：40%以上 79%以内 ×：40%以下

## 6.次年度の取組み内容（2017年度から新規中期計画策定）

環境年度目標	実施部門	取組内容
<p>&lt;廃プラの廃棄物中間処理リサイクル率の向上&gt; 2016年度 83%実績ベースから+1%の84%以上のリサイクル率向上に取組</p>	白井作業所	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 処理場内の分別の徹底</li> <li>2. 圧縮機の活用(運用手順書等の作成、教育)</li> </ol>
<p>&lt;廃棄物収集量の拡大&gt; 2016年度実績の月6件以上に取組</p>	本社	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 産業廃棄物の分別ガイド・会社案内等の配布活動による適正処理事業者の拡大</li> <li>2. 会社案内のリニューアル版活用</li> <li>3. 提案活動の推進</li> </ol>
<p>&lt;改善提案の推進&gt; 2016年度実績の月6件以上に取組</p>	白井作業所	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 排出事業者への改善提案/実施記録の活用</li> <li>2. 処理施設の見学事業者の積極的受け入れ活動の実施</li> <li>3. 最終処分場の定期チェック</li> <li>4. Q&amp;A資料の活用</li> </ol>
<p>&lt;グリーン購入の推進&gt; 初年度2013年度の60%をベースに70%以上のグリーン購入率に取組</p>	本社 白井作業所	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ネット購入等活用によるグリーン購入商品購入推進</li> <li>2. 老朽化事務用設備・機器類の買い替え</li> <li>3. グリーン商品購入の推進手順書の作成・教育（品目数から金額ベース管理への切り替え）</li> <li>4. 会社案内等のグリーン印刷の実施</li> </ol>
<p>&lt;省資源・省エネ活動の継続実施と監視&gt; 2016年度基準(使用実績以内)の使用量の監視</p>	本社 白井作業所	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 月次データからの監視と会議等での省エネ・省資源活動の徹底</li> <li>2. 年度環境負荷チェックシートの作成と統計評価等の実施</li> <li>3. 環境負荷低減目標の検討(原単位等)と試行</li> <li>4. メーカーより車両タイヤの点検情報収集と点検方法の社内教育等実施</li> <li>5. エコドライブ・適正車両の整備</li> <li>6. パッカー車の故障等の把握</li> </ol>
<p>&lt;安全操業活動の徹底&gt; 事故ゼロ活動の継続</p>	白井作業所	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ゼロ災害実施記録」により活動し記録作成</li> <li>2. 「破砕機日常点検表」「圧縮機点検表」による点検実施</li> <li>3. ヒヤリハット集の収集・活用</li> <li>4. 責任者による事故防止への安全教育の実施（事故事例等活用）</li> <li>5. 圧縮機の緊急事態対応手順書作成・教育の実施</li> </ol>
<p>&lt;環境経営評価への参画&gt; 新規顧客獲得への広報活動強化</p>	本社	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新規顧客獲得率の把握</li> <li>2. 対象自治体の確認と申請書作成・手続き</li> <li>3. 産廃ネットの更新・確認</li> <li>4. 会社案内のリニューアルと活用</li> <li>5. 地域イベント活動の参画（祭事協力、周辺清掃、行政コミュニケーション強化検討）</li> </ol>

## 7. 環境法規への違反、訴訟の有無

2016年10月26日に環境関連法規等の順守状況を確認した結果、環境関連法規等への違反はない。なお、過去3年間関係当局からの違反等の指摘はなく、また地域住民からのクレーム、利害関係者からの訴訟等もない。

### 【主な環境関連法規】

廃棄物処理法、自動車NOx・PM法、道路運送車両法、貨物自動車運送事業法、浄化槽法  
消防法、騒音規制法、労働安全衛生法、フロン排出抑制法(業務用冷凍空調機)

## 8. 代表者による全体の評価と見直し (2016年10月28日実施)

### 【見直し結果】

#### <環境方針について>

- ・昨年度同様に環境経営の中心である新規顧客とリサイクル量の拡大に対し、広報ツールの活用等で提案活動が推進した。特に、新規顧客の獲得に大きな成果を上げている。従って、今回環境方針の改定は無い。

#### <環境目標について>

- ・環境目標はほぼ達成したため、新規中期計画に則り年度ストレッチ目標を達成するよう努めていくこと。

#### <環境活動計画>

- ・懸念した前年度未達成の地下水使用量の削減は達成したが、燃費管理、軽油使用削減の日常管理レベルは未達成であった。新規の中期計画に基づき従って、今後は、一層現場のアイディア・提案も施策に取り入れ、年度計画を策定すること。

#### <環境経営システムについて>

- ・前回の審査結果からの見直しで運用上変化なく、今回は改定せず。

### 【今後についての指示】

- 1) 白井作業所はリサイクル率向上への、圧縮梱包機の作業手順書を準備すること。
- 2) 本社の目標である、優良性評価事業者の認定登録申請を継続して実施すること。
- 3) 社内外の個人情報の取り扱いについて、その必要性と取扱い要領・個人情報保護法遵守等について、関係部署全員に周知させ、機密情報等の受注活動に活かすこと。
- 4) 2008/2/5 認証登録後8年経過し、本社・白井作業所とも活動実績データが蓄積されており、多角的に環境経営へ繋がる要因分析をトライし、施策に反映すること。  
一例だか、審査でも提案された燃費向上等の行き詰まり感に対し、原単位を用いての目標見直しや、車両事故の要因分析と対策、排出事業者のリピート客の拡大方法へのアプローチ等、検討を進めて行くこと。

今後、排出事業者様・市民目線での環境配慮の有り方を追求し、行政と合わせ市民になくはならないリサイクル事業者として自覚し、より良い環境事業を通じたサービスの提供に努めていく。その原動力が優良性事業者の認定を受け、よりお客様に身近なりサイクル提案ドライバーの拡充を計っていく。

以上